

おかざき ゆういち
岡崎裕一 議員



ICTを利用した「スマート農業」への積極的な取り組みを！

町長
今後のさらなる技術の進歩に期待しつつ、農地の集約や集積が必要になっていくと考えます。

問 農薬散布など、手間のかかる業務は早急に負担を減らすべきです。農業をはじめ社会を支えるためのネットワーク技術を活用するための基盤整備について、今後の展望をお聞かせください。

答 まずは、通信環境の拡大が必要と考え、光通信網を現行の1ギガから最大10ギガまでを構築、整備に向けて前向きに取り組んでまいります。

これは全国的に見てもあまり例のないことで、全国に先駆けて取り組むことは企業誘致にも大変有利な条件となり、様々な住民サービスに対応していくことが可能となります。

農業に携わるすべての方々が少しでも楽に長く続けるため、積極的な取り組みをお願いします。

たけだ しげのぶ
竹田茂伸 議員



インフルエンザとコロナ、同時流行への対策は？

町長
各医療機関と情報を共有し、症状がある方の受診相談窓口は、ホームページ及びチラシで周知しています。

問 同時流行に備え、どんな対策をしていますか？

答 県は、休日夜間診療所等や自宅療養者フォローアップセンターの拡充、高齢者施設等の頻回検査をしており、町は、年末年始の相談窓口や集中PCR検査受付窓口について注意喚起とともにチラシ配布で周知しました。

問 厚生労働省の対応方針にはオンライン診療もありますが、本町でも導入を考えていますか？

答 同時流行に備えてのオンライン診療は、本町では実施しません。しかし、新しい医療形式であるオンライン診療は、医師の確保が厳しい状況の中では、今後選択肢の一つとして検討していく必要があると思っています。

病院再編計画の中にオンライン診療の体制を加えていただきたい。

やまなか まさき
山中正樹 議員



带状疱疹ワクチン接種費用に対する助成のお考えは？

町長
国の動向を踏まえて検討していきたい。

問 带状疱疹は全国的に罹患率が高く、80歳までに3人に1人が発症するといわれ、後遺症として神経痛が残る場合があります。

带状疱疹の予防にはワクチン接種が有効ですが、高額であるため助成が必要だと考えます。

症状と予防、ワクチン接種費用の助成に関して伺います。

答 带状疱疹の症状は、体の左右どちらか片方にピリピリと刺すような痛みと、赤い斑点と小さな水ぶくれが帯状に現れるのが特徴です。

予防は、バランスのとれた食事や睡眠、適度に体を動かし、ストレスが蓄積しないようにすることが有効です。

ワクチン接種費用の助成は今後、国の動向を踏まえて検討してまいります。

費用助成をぜひお願いしたい。

P12
一般質問
岡崎裕一議員
竹田茂伸議員
山中正樹議員